

令和元年度授業改善推進プラン「各教科の課題」と「具体的な授業改善策」

小笠原村立小笠原小学校 3年生

	各教科の課題	具体的な授業改善策	改善の評価
国語	○書く力の向上 (漢字、作文)	○言葉の力を身に付け、活用できる授業づくり ・辞書引き、作文による正しい語いの獲得、短文作りを行う。 ・日記を継続する。 ・東京ベーシックドリルを活用する。	○文章力が高まった。 △漢字や言葉の獲得にも高まりが見られるが、個人差がある。
社会	○社会的事象への関心・意欲・態度の醸成	○社会的事象への関心・意欲・態度を高める授業づくり ・社会科の用語の定着を図るために、ノートに記録したり確認したりする。 ・現地見学の機会、実物に触れる機会を増やす。	○現地見学の機会、実物に触れる機会を多くもったことで学習に意欲的に取り組めた。
算数	○知識・理解の定着	○四則計算の技能を確実に身に付け、必要な場面で活用できる授業づくり ・日常生活から教材を作り、実物に触れる中で問題解決を図る。 ・デジタル教科書等の視聴覚教材を活用する。 ・東京ベーシックドリルを活用する。	○計算技能の定着、文章問題などへの活用もだんだんとできるようになってきている。 △計算技能に個人差がある。
理科	○知識・理解の定着	○知識を意欲的に獲得し、表現できる授業づくり ・理科の用語の定着を図るためにノートに記録したり確認したりする。 ・観察や実験など体験を通して学習の理解を深める。	○観察や実験など体験を通して、学習の理解の深まりや、理科用語の定着が見られた。
音楽	○表現技能の向上	○音楽の楽しさを味わう中で技能を向上させる授業づくり ・リコーダーの基礎・基本を繰り返し行い、技能の定着を図る。 ・互いの声を聴き合う中で、自然で無理のない声を出すことの良さを実感させる。	○リコーダーの基礎・基本技能の定着をした。 ○自然で無理のない声を出すことの楽しさを実感させた。 △技能の定着に個人差はある。
図工	○発想・構想の能力の向上	○造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについての考えることができる授業づくり ・様々な参考作品を紹介する。 ・材料や道具などの使い方で、工夫できる場所を確認する。 ・工夫している児童の作品を紹介し共有する。	○授業での工夫できる場所を理解し、工夫して取り組んでいる。 △発想が広がりにくい児童もいる。
体育	○「握力」「長座体前屈」 ※前年度の体力テストデータから分析	○各種の運動の楽しさや喜びを味わい、グループ運動の課題を見付け、その解決方法や活動を工夫する授業づくり ・学習のポイントを押さえ、運動に取り組む。 ・各単元で児童の学び合い活動を取り入れる。 ・握力や筋力を高めるために固定施設や鉄棒などの器具、遊具の活用をする。	○技能ポイントを押さえたり教え合ったりを取り入れたことで、基本的な技はできるようになった。